

入学前課題に取り組む意義 — 心理学の学びに必要な力を身につけるために —

入学前教育で皆さんのが取り組む読解や要約は、心理学の学びに直結しています。心理学では、研究論文・調査報告・事例記録など、長く専門的な文章を正確に読み取り、要点を整理し、自分の言葉で説明する力が不可欠です。また、他者の言葉や行動の背景にある「感情」や「思考」を読み取る能力も重要です。

今回の課題は、物語を丁寧に読み、登場人物の心の動きを理解し、必要な情報を取捨選択してまとめる練習です。これは、心理学で求められる次のような基礎力を身につけるための大切なステップです。

◆この課題で身につく3つの基礎力

1. 文章の要点をつかむ力（読解力）

専門的な文章の中から大事な情報を選び取り、構造を理解する力です。心理学の授業・論文読解で欠かせない基本能力です。

2. 心の動きを読み取る力（心理的的理解力）

物語の登場人物の感情や思考を推測することは、人の行動や心の背景を理解する力につながります。

3. 情報を整理し、簡潔にまとめる力（要約力・説明力）

多くの資料を扱う心理学では、内容をまとめて伝える力が求められます。レポート作成や発表でも役立つ重要なスキルです。1年生前期に開講される「基礎ゼミナールI」でも、この力の育成に取り組みます。

大学の学びをスムーズに始めるための準備として、ぜひ主体的に取り組んでください。